

こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO
NEWS

2006.5.15 No.171 発行/(こどもの城)広報部 ☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1

すきとおって見える波形の建材で仕切られた駐車場。なかにあるものは、もやがかかったようにぼんやりと見えます。目の前にあるはずなのに、遠くにある別の世界のように、不思議な感じ。仕切りの表面がくっきりと映し出されているので、その違いをより強く感じます。

はっきりとした世界とぼやけた世界——どちらの世界も気になります。向こう側にも、同じように暖かい日差しが差し込んでいるようです。仕切りの上から少しだけ見える向こう側は、こちらと同じようなので、ほっとした気分になる。

(写真:中根静男/文:たかべ としき)



“?”からはじまる 遊びの実験・研究室

サタデーラボラトリー

科学遊び、映像遊び、クラフト遊び
——いろいろな遊びにチャレンジ!
土曜日 1~4時/プレイホールほか/小学生~

小学生以上を対象に毎週土曜日に行っている「サタデー・ラボラトリー」(夏休み特別期間などを除く)では、身の回りにある“あそび”や“できごと”——ちょっと見方を変えると“あれ!!なぜだろう? どうしてだろう?”と思うようなことを取り上げて、あれこれ工夫しながら遊んでみようというプログラム。紙飛行機はどうすればよく飛ばすことができるか、こまはふう丸いけれどへんな形をしたこまを回すことができるか、大きなシャボン玉を作るにはどうすればよいか、私がかいた絵がほんとうに動いてみえるの、こんな遊びかたをしたらおもしろいんじゃないか——いろいろ試しながら、自分たちで工夫して遊んでいます。だから「ラボラトリー=研究室・実験室」という名前になっています。「サタデー・ラボラトリー」の楽しさ、おもしろさを紹介します。



飛行機が飛ぶ秘密



回転のふしぎをさぐる~こままで遊ぼう

遊びのなかにも“科学”がある なっとくするまでくりかえすことも

「回転のふしぎをさぐる~こままで遊ぼう」は、いろいろな形のこまを作って回してみようというプログラム。理科の実験をするような場面もあります。材料はボール紙と竹ひご。最初に、ボール紙を好みの形に切り抜きます。三角形だったり、顔の形だったり——回すことができるのか不安になります。

どのような形をしていても、重心を見つけ出して、そこに竹ひごをおさへ回すことができます。ボール紙のはじに小さな穴をあけて、細いぎに通してプラブラつします。重りをつけた糸を同じくぎからたらし、糸にそってボール紙に線をひきます。同じことを異なった場所

所で3回くりかえすと、3本の線が交わる場所が見つかります。そこが、好みの形に切ったボール紙の重心です。ていねいに、そして正確に線をひかないと重心がうまく見つかりません。もう一度はかりなおしたり、場所をかえてはかたりしてみます。なっとくするまでくりかえして試してみることも「研究・実験」として大切なことです。

“なぜ?”“どうして?” 遊びをとおして世界を広げる

「あったかいぞ!!~カイロをつくらう」では、使い捨てカイロを作ってみました。鉄が酸化するときに出す熱を利用するもので、鉄の粉と塩水がゆっくりと混ぜり合うように作ります。鉄と塩の割合をいろいろ変えて作って、温度のあがりぐあいなどを調べ、最適な組み合わせを探る研究員もいました。



あったかいぞ!!~カイロをつくらう

「温度があがらない。作り方が悪かったかな、作り直してみよう」「今度は塩を2倍にしてみるよ」「水をふやしたら、紙がやぶれちゃった」など、相談しながら手助けして“実験”を楽しみます。「サタデー・ラボラトリー研究員」という仲間意識が自然に子どもたちを結びつけるのかもしれない。

精密な実験とは言えないかもしれませんが、鉄と塩の割合を変えることで結果が異なること、どうなるだろうという興味をもって、いろいろと試して結果を調べてみることもおもしろさを自然に学んでいきます。「もの作り」という遊びをとおして、“なぜ?”“どうして?”と新しい世界がひろがっていきます。

こんなことできないかな? あれこれ遊びを試してみる

遊びのおもしろさの一つに“工夫する”があります。こうしたらどうなるだろう、こんなことはできないかな——と考えると、あれこれと試してみたいくなります。考えていたおりにできることもあれば、うまくいかないこともあるかもしれません。でも、できることがふえれば、遊びかたもふえていろいろと楽しめるようになります。

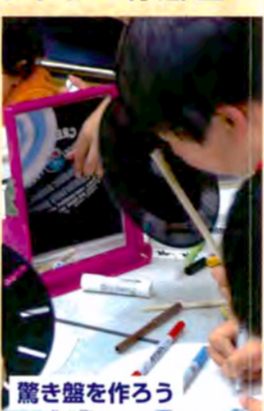
紙飛行機も、つばさの形を調整したり、飛ばしかたをかえたりすると飛びかたが変わってきます。遠くまで飛ばす、目標に向かってまっすぐ飛ばす、ぐるっと回ってもどってくるように飛ばす——何回も試していくうちに、調整や飛ばしかたの“コツ”が分かってきて、いろいろなことができるようになります。「飛行機が飛ぶ秘密」のプログラムです。

遊びかたも工夫します。決められた場所に着地するように飛ばす、輪のなかをとおす、まに当てる——自分がいちばんとくいとる飛ばしかたを生かした、遊びを考えることもできます。10人いれば、10種類の遊びがでてくるかもしれません。

より楽しく遊ぶための工夫をしたり、いろいろな遊びかたを考えたり——つまり、遊びの“研究・実験”をするのが「サタデー・ラボラトリー」。希望する子どもたちには研究員になって、遊びを“研究・実験”してもらっています。

■5~7月のサタデー・ラボラトリー(予定)■

- 5月13日 スーパー糸電話
- 20日 驚き盤を作ろう
- 27日 あぶりだしのふしぎ
- 6月 3日 空気の力(パワー)
- 10日 色々プリント術
- 17日 混虫(まぜむし)工場
- 24日 4コマまんが道場
- 7月 1日 クイズ100問
答えてラリー
- 8日 混虫(まぜむし)工場
- 15日 水をろ過する



驚き盤を作ろう

映像遊びやクラフト遊びも——

「サタデー・ラボラトリー」では、映画発明以前にあった“絵が動いてみえるおもちゃ”で自分が書いた絵を動かしてみたり、ビデオカメラでアニメーションを作ってみる映像遊び、そしてクラフト遊び「混虫(まぜむし)工場」など、さまざまなプログラムを取り上げています。いろいろな遊びとの出会いを大切に、遊びのなかから“なにか”を見つけてほしいと願っています。

対象は小学生以上の子ども。場所は、プレイホールほか。受け付け時間は、1~4時。研究員に登録して、スタンプを集めるとすてきなプレゼントもあります。スタンプは、プログラムに参加することに1つもらえます。



火を考えると火おこし体験

遊びと思えない体験も 子どもたちは遊びとして楽しむ

私たちのくらしは、技術の進歩などにもなって変化してきています。たとえば、最近増えてきたオール電化のキッチンでは、火(ほのお)を目にすることはありません。魔法のように、なべの中の水がふっとうします。大昔の人が、木と木をこすりあわせて火をおこしていたことなどは想像もできません。

便利になったくらしのなかで、なくなってしまった“作業”を体験してみることもあります。「火を考えると火おこし体験」「のこぎりをひこう」などのプログラムです。使えない道具にとまどいながら、むちゅうになって“作業”に取り組みます。木と木をすりあわせていくうちに、こげくさい匂いがしてきて煙がたちのぼり、火種ができます。それを細かい木くずに移して風をおくり、ほのおをあけて燃える火にします。火を使うただ一つの動物・人間にとって、火をおこす“作業”になにか特別なものを感じるのかもしれない。“できた!”という満足感・充足感を感じるようです。

大人から見ると遊びとは思えないものも、子どもたちは遊びとして受け止めて楽しんでます。私たちのくらしの中には、遊びとして楽しめるものがいっぱいあるのかもしれない。

きょうもおいしく
いただき
ま〜す!

児童福祉施設給食用
スキムミルク

スキムミルクってなあに?
栄養価が見直されるスキムミルク

スキムミルク(脱脂粉乳)は、牛乳から乳脂肪(バター)を取り除いてつくります。スキムミルクの大きな特徴は、乳脂肪がきわめて少なく、低脂肪、低エネルギーであることから、飲用にも料理にも、さまざまなお菓子作りにも幅広く活用していただけます。さらに、良質なたんぱく質、カルシウム、ビタミンB2など、成長や健康に欠かせない栄養素がたくさん含まれているのも特徴です。

スキムミルクは、動物性脂肪をほとんど含んでいないので、生活習慣病予防に役立つ健康食品として高く評価されています。大人だけでなく子どもにも生活習慣病が増えている今こそ、低脂肪・低エネルギーのスキムミルクをじょうずに給食に取り入れ、子どもたちの健康づくりに役立ててください。

お問い合わせは TEL 03-3591-3245

財団法人 児童育成協会 児童給食事業部
〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-21 FAX 03-3595-2216
児童給食事業部では、ニュージーランドの厳選された新鮮な牛乳から作った「スキムミルク」を無税で輸入し、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。

【こどもの城】夏のキャンプ参加者募集

自然とあそぼう! 仲間と遊ぼう!

【こどもの城】では、大自然の中で行うプログラムも子どもたちにとってかけがえのない活動だと考え、大切にしています。今年も、対象年齢や活動内容もさまざまなキャンプを計画し、参加者を募集しています。山登り、川遊び、野外炊事、スポーツやハンドクラフト—たくさんのプログラムを楽しむことができます。新しい友だちと出会い、大自然の中でともに作り上げるキャンプ生活は、子どもたちに大きな力と自信をはぐんでくれると思います。それぞれの参加申し込みは、受け付け開始日の正午から。電話で先着順に受け付け。活動内容の詳細についてはお問い合わせください。

参加申し込み・お問い合わせは— 03-3797-5675へ おかけ間違いのないようご注意ください



ちびっこ冒険団

ちびっこ冒険団

5月25日正午受け付け開始 (プレイ事業部)

ワクワクする冒険ハイキングやドキドキの野外炊事など、さまざまな野外プログラムを楽しみます。新しい仲間と力を合わせて作り上げるキャンプ生活で、かけがえのない友情と大きな自信をはぐくみます。6~7人のグループに分かれキャンプ生活。

■日程=7月29日~8月1日/場所=国立須賀甲子青少年自然の家(宿泊/給食)/対象=小1~3/定員=70人/参加費=39,000円/説明会(プレキャンプ)=7月2日 1時30分~4時(研修室)

競う(コンテスト)、習う(カレッジ)、鑑賞する(コンサート)—日本の太鼓のさまざまな魅力がいっぱい集まった「TAIKO JAPAN 2006」を、8月26~29日に青山劇場、青山円形劇場、こどもの城(体育室・フリーホール・ピロティ)で開催します。主催は、こどもの城(青山劇場)、(財)浅野太鼓文化研究所、東京新聞。これまでは別々に開催されていた「青山太鼓見聞録」コンサートと「東京国際和太鼓コンテスト」(カレッジ=ワークショップもあわせて開催)を同時に開催し、子ども向けの「カレッジ」も充実させた太鼓の総合イベントです。



競う(コンテスト) 習う(カレッジ) 鑑賞する(コンサート)

太鼓の総合イベント

8月26~29日 青山劇場ほか

カレッジは、初心者向けの太鼓を打つ楽しさを知ってもらうものから、さらなる上達をめざす中・上級者向けのコースまで全部で8講座。

さらに、けやき胴・牛革、麻ロープでミニ太鼓を作る「工作教室」もあります。子ども・中高生を対象にしたコースは、事前の申し込みが必要な「中高生対象初心者教室」と「ミニ太鼓づくり」(有料)、そして当日受け付けの「自由参加和太鼓サークル」(無料)の3つ。

「中高生対象初心者教室」「ミニ太鼓づくり」参加者募集中

■中高生対象初心者教室 ■講師は齋藤栄一さん。鼓童の中心メンバーとして「熱き思ひ」を信条に、パワーあふれる演奏、ワークショップを展開。太鼓を打つための準備(ストレッチなど)と基本を学んで、楽しく元気に太鼓をたたきます。27日2~5時、体育室、定員40人、受講料3,000円。見学可。

の輪になって太鼓を打ちます。太鼓のベテランも、初めての人も、老若男女が同じ土俵で自由に太鼓打ち。ストレス発散、太鼓の楽しさと新しい自分の発見が目的。和太鼓が作るホットなコミュニケーション。指導にあたるのは太鼓の木下千恵子さんと山田瑞恵さん。27日1時30分~3時、当日会場のピロティで先着順に受け付けします。定員30人。無料。



※カレッジの詳細については、事務局までお問い合わせください。一部ワークショップは、見学もできます。

■ミニ太鼓づくり ■26日1時30分~3時と27日10時30分~12時の2コース。ピロティ、定員は各回30人、受講料は4,000円(材料費含む)。写真右上。

■自由参加和太鼓サークル ■初めて出会った人たちが、一つ

【東京国際和太鼓コンテスト事務局】 〒100-0011 東京都千代田区千代田2-1-4 日比谷中日ビル3階 TEL 03-3595-4834 (月~金曜日 10~6時) FAX 03-3503-1438 E-mail taiko@tokyo-np.co.jp ホームページ http://www.tokyo-np.co.jp/event/taiko/

中学生が「職場体験」 プレイホールで折り紙遊び



子どもたちが折り紙の金魚で遊ぶのをやさしく見守っているのは福島県会津美里町立高田第二中学校の3年生。総合的な学習「生き方を探る〜働くことの意義と喜び」の一環として、女子中学生5人が4月18日に【こどもの城】で「職場体験」をしました。折り紙で「ふうせん金魚」を折って、折った金魚で釣りをして遊ぶ活動を担当。スタッフと一緒に

保育関係者が行う 子育て相談研修会

初任者向け「基礎編」は6月24日 5月27日に経験者向け「応用編」

保育所、幼稚園、児童館、子育て支援センターなどから、子育て相談についての情報や研修を求める声が多くなっています。保育研究開発部

では、初任者向けの「保育関係者が行う子育て相談研修会(基礎編)〜様々な親をどう理解するか」、相談事業のリーダー養成をめざす「同(応用編)〜子育て相談事業のすすめ方、保育所や児童館が行う子育て相談とは何か」を開催しています。「基礎編」は、子育て相談をこれから始める人や始めたばかりの人、相

お知らせ 6月2日(金曜日)「横浜開港記念日」 6月15日(木曜日)「千葉県民の日」 (こどもの城)は10時に開館。たくさん遊んでいってください。

■青山劇場 ☎03-3797-5678 http://www.aoyama.org

青山劇場

●SHINKANSEN☆RS「メタル マクベス」マ5月16日~6月18日マS席=12,000円、A席=9,500円、Z席=6,500円、立見=6,000円 (開) 0570-00-3337 ●押花コタロー 六弦六夜~All Alone at 青山劇場 マ6月23~29日マ5,500円 (開) 03-3498-9999

青山円形劇場

●少年隊 PLAYZONE 2006 マ7月9日~8月5日マ15,000円 (開) 0180-993-774 ●青山円形劇場プロデュース「MYTH〜ミスター」マ5月11~28日マ5,500円(当日=5,800円) (開) 03-3797-5678 ●劇州ステジオ 第15回公演 ミュージ

カル「鐘を掲げて」マ6月3・4日 (開) 03-3273-9421 ●劇団ダンダンエノ Go! Go! 公演「トリテ〜碧〜」マ6月16~25日マ5,500円 (開) 03-5333-4986 ●熊谷和徳「TAPPERS RIOT」5Days Circle of Love+Life マ6月26~30日マ5,500円 (開) 03-3498-9999 ●デジタルハリウッド・エンタテインメント株式会社「スイッチを押すとき」〜君達はなぜ

チャレンジキャンプ

6月8日正午受け付け開始 (体育事業部)

湖畔でのウォーターゲームやナイトプログラム。チャレンジプログラムでは、ヘトヘトになるけど、なすげたとときの満足感・達成感は、すばらしい思い出に。ボランティアリーダー、新しい仲間と一緒にキャンプで生活。いろいろチャレンジ。

■日程=8月27~30日/場所=東京YMC A山の中湖センター(宿泊/給食)/対象=小1~3/定員=45人/参加費=48,000円/説明会=7月8日 4~5時(体育室)

スポーツキャンプ

5月24日正午受け付け開始 (体育事業部)

広い芝生の上やテニスコートで、思う存分さまざまなスポーツを楽しみます。全力を出した爽快感、充実感を体験。自分の体の感覚やバランスを感じながら、体力的にも精神的にも大きくなることをめざします。特別プログラムとして苗場山登山も予定。

■日程=7月26~29日/場所=ニュー・グリーンピア津南(宿泊/給食)/対象=小3~中3/定員=30人/参加費=49,000円(小学生)、53,000円(中学生)/説明会=7月1日 4~5時(体育室)

フェロシップキャンプ

6月1日正午受け付け開始 (プレイ事業部)

野外炊事やハイキング、オーバーナイトキャンプ—大自然の中でさまざまなプログラムを体験。6~7人のグループに分かれ、担当のボランティアリーダーと一緒に、力を合わせてキャンプ生活を作り上げます。

■日程=8月6~10日/場所=国立須賀甲子青少年自然の家(宿泊/テント泊/給食)/対象=小4~中3/定員=40人/参加費=46,000円/説明会(プレキャンプ)=7月8日 3時~5時30分(研修室)

ジュニア・アウトドア・スクール

5月31日正午受け付け開始 (企画研修部)

南蔵王連峰の豊かな大自然の中で、異年齢の仲間とともに、自分たちの力で生活を築いていくキャンプ。グループごとのさまざまな「アクティビティ」をとおし、生きていくことの喜び、友だちの大切さ、自然の美しさに気づいていきます。

■日程=8月1~7日/場所=国立山花青少年自然の家南蔵王野営場(テント泊/自炊)/対象=小3~中3/定員=70人/参加費=55,000円/説明会(事前講習会)=7月9日 1時~4時30分(研修室)

こどもの城となかまたち

全国児童館おりがみ作品展巡回展 児童館を飛び出し、公共施設で開催

平成17年度「全国児童館おりがみ作品展」の巡回展が6月上旬まで全国各地で開催されています。巡回展の開催方法も年々工夫され、周辺の児童館に呼びかけて地域の折り紙作品展をあわせて実施したり、ワークショップを行うと地域との交流を深めたりしているところもあります。今月号では、児童館を飛び出して近くの公共スペースで巡回展を開催し、地域の人たちに児童館活動をアピールしたケースを紹介します。

市中心部の地下街で 展示とワークショップ

子どもスタッフもふれあい楽しむ—札幌市 昨年末に札幌市で開催された巡回展は、市の中心部・大通公園にある、

実行委員会を組織し 市民ギャラリーで開催

ふれあいスペースで異世代交流も—神戸市 神戸市で行われた巡回展は、作品展に出品した榎谷児童館が中心となって、全国児童館おりがみ作品展神戸開催実行委員会を組織し、近くにある西区民センター市民ギャラリーで1月11~17日に開かれました。



展示だけでなく「ふれあいスペース」も設けました(神戸市西区民センター市民ギャラリー)

1回ずつの参加も可能です。「応用編」は、専門的に学びを深めたい人、相談活動に携わって来て自分の技術を見直したい人などが対象。参加者が担当した実際の事例について具体的に検討しながら、相談のすすめ方を学びます。

保育関係者が行う 子育て相談研修会(基礎編)

テーマ=児童福祉施設が行う子育て相談の基本と実践 監修=山崎美貴子(神奈川県立保健福祉大学)ほか 対象=子育て相談にかかわる初任者

走れ! キャッスルトレイン

Nゲージの鉄道模型を走らせて楽しむ「走れ! キャッスルトレイン」が、5月27日~6月4日(11~5時、5月30日~6月2日は1~5時、4日

さっぽろ地下街オーロラタウン・オーロラスクエア(12月3・4日)と札幌市の中の島児童館(12月6~10日)の2会場で札幌市児童館「全国児童館おりがみ作品展」(主催:財団法人札幌市青少年女性活動協会)が行われました。中心となって運営したのは、作品展に出品した札幌市の4つの児童館(中の島児童館、本郷小ミニ児童館、平岡みどり児童館、清田中央児童館)。両会場とも、展示だけではなく「おりがみ体験コーナー」を設け、ボランティアの協力を得ながら、児童館を利用している子どもたちが訪れた人たちと一緒に折り紙を楽しみました。

オーロラスクエア会場は、年末の土・日曜日とあって家族連れを中心に、1,100人もが訪れ、展示された作品を楽しみました。体験コーナーでは、子どもスタッフが「サンタクロース」など季節にちなんだ折り紙作りを指導しました。中の島児童館は、老人福祉センターとの複合施設。毎日のように幅広い年齢の人たちが会場を訪れ、期間中の来場者は500人を超えました。

「日ごろ児童館を利用している子どもたちを中心に、巡回展の運営を進めていくことができました。児童館・児童館の活動のPRははもちろんですが、地域の子どもたちが大人とふれあい・学びあいがらさまざまな経験を積み重ねていくこと、それこそ健全育成を考える一端になったのではと思っています」と、担当者は報告しています。

展示のほかに、折り紙やまご遊びを楽しめる「ふれあいスペース」も設け、幼児からお年寄りまで異世代の交流を楽しんでもらいました。14日には、日本折紙協会から講師を招いて「コーカサスオオカブトをろう」というワークショップ(定員30人、無料)も行いました。

実行委員会には、榎谷児童館の運営委員長や子育てコミュニティ会長のほか、地域の民生委員・児童委員協議会会長、青少年育成協議会会長、主任児童委員、保護者ボランティアの大人のメンバーだ

けでなく、児童館を利用する子どもたちの人数はほぼ同数。実行委員会を中心に、子どもと大人が力をあわせて、地域ぐるみで、おりがみ作品展神戸開催に取り組みました。

「児童館を飛び出し、地域の方が多くつどう市民ギャラリーを借りて実施しました。日ごろ児童館とかかわりの少ない方々にも鑑賞してただけました。児童館だけにとどまらず、折り紙を通じて児童館事業を広く市民に知っていただく、たいへんよい機会になりました」と報告しています。期間中に、2,100人もの来場者がありました。

Bスタジオの催し

■5月21日、6月4日 ■手作り楽器のワークショップ「フィルムケースの笛」 1時30分~2時、3時30分~4時 フィルムケースを使った「かっこう笛」。幼児から参加できます。時間内随時受け付け。 ■5月28日 ■不思議な映像実験室「絵が動いてみえるおもちゃの展示とワークショップ」 11時~5時 映画やビデオのルーツ「動いて見えるおも

「おりがみ体験コーナー」で訪れた人たちと子どもたちが交流(さっぽろ地下街オーロラタウン・オーロラスクエア)



「おりがみ体験コーナー」で訪れた人たちと子どもたちが交流(さっぽろ地下街オーロラタウン・オーロラスクエア)

ちゃ(視覚が「具員」の、さわって、見る展示と3種類のワークショップ。 ■ゾマトロフを作ろう(11時30分~12時30分) ■ピンホールカメラを作ろう(1時30分~2時30分) ■フィルム絵を描こう(3時30分~4時30分)

■6月11日 ■こどもの城映画劇場「カナダのアニメーション」 11時35分、1時35分、2時35分、3時35分 世界的に高い評価を得ているカナダのアニメーションを上映。 ■四重奏(3分5秒/Judith Klein監督)、「編者」(7分37秒/Cordell Barker監督)、「ネブルさん」(10分59秒/Bernard Longpre監督)

■6月18日 ■手作り楽器のワークショップ「フィルムケースの笛」 1時30分、3時30分 1時30分の回が「回す笛」、3時30分の回が「かも笛」。小学生以上、定員は各回30人。15分前から会場で受け付け。

■おもしろビデオ館 金曜日 3時30分~4時 Bスタジオ 親子で楽しむ「ミニビデオスター」。2~4歳くらいの子供向け作品を選んで上映。

(ゆかいな粘土アニメーション) 5月19日: もぎもぎ カロとピロフト〜サンドイッチ〜 26日: もぎもぎ カロとピロフト〜あめのひ〜 (動物のでてくる絵本) 6月2日: コーネリアス きょうりゅうくんとさんぼ 9日: アメリカワニでずこんには ぶしぎななおたまじゃくし 16日: あつかりカバ こびけんなライオン 23日: ほくのだ! わたしのよ! スミエー 30日: さかなはさかな フレデリック



生きているんだ?〜 マ7月11~19日マ4,800円 (開) 03-5281-8880